

● リラクゼーション産業のキャリア(人材マップヒアリング調査より)

リラクゼーションとは、蓄積されたストレスや身体の疲れなどを発散させ、くつろぎや息抜き、疲労回復などを提供することを目的としたサービスである。人材マップヒアリング調査(厚労省職業能力開発局:サービス分野人材育成プロジェクト)は、当該業のうち、近年急速に雇用を拡大しているとされるアロマセラピー、フレクソロジー分野を取上げ、そのキャリアを調査している(調査実施:三井情報開発(株)総合研究所)。

5. 職種別人材マップ・人材育成計画

1. 人材マップ(リラクゼーションサービス)

職種	職務内容	職務	人材の不足状況			
		職務遂行能力 ※ 太字は、そのレベルの人材が主に行う職務	企業の不足感	具体的な不足状況	不足している人材の特徴	
セラピスト	初級 (上司のサポートつきで、仕事ができる。初心者)	ボディトリートメント(技能)	<ul style="list-style-type: none"> クライアント一人ひとりの心と身体の状態をふまえたトリートメントが実施できる 精油の香りと特性の専門知識を最大限活用しながらトリートメントが実施できる トリートメントの目的や安全の範囲を十分理解した施術ができる 	不足は感じていない	<ul style="list-style-type: none"> 即戦力を求める企業が多く、初心者からの採用は少ない(養成学校等の経験者が優先される) 	<ul style="list-style-type: none"> 接客や人との会話が好きな人材 仕事の厳しさをよく理解している人材
		コンサルテーション	<ul style="list-style-type: none"> 顧客のストレスによる緊張を和らげ、心身のバランスをとることができる 顧客との信頼関係を構築できる 			
	中級 (一通りの仕事ができる、自分の判断でできる)	ボディトリートメント(技能)	<ul style="list-style-type: none"> クライアント一人ひとりの心と身体の状態をふまえたトリートメントが実施できる 精油の香りと特性の専門知識を最大限活用しながらトリートメントが実施できる トリートメントの目的や安全の範囲を十分理解した施術ができる 衛生管理(有害微生物、感染、消毒等)の知識があり、実践できる トリートメント技術を会得し、トリートメントの実績を豊富に有し(最低30症例)、一通りの施術ができる 現場で扱うことが予想される典型的なケースを想定し、対処ができる 必要となるカルテの作成や記入ができる 	不足は感じるが積極的には求人しない	<ul style="list-style-type: none"> 慢性的に人材が不足していると認識する企業が多いものの、採算面から、量的な拡大は難しく、質的に優れた人材であれば採用したいと考えられている 地方都市においては、養成学校がなく、セラピスト自体が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> 接客や人との会話が好きな人材 仕事の厳しさ(肉体労働)をよく理解している人材
		コンサルテーション	<ul style="list-style-type: none"> 顧客のストレスによる緊張を和らげ、心身のバランスをとることができる 顧客との信頼関係を構築できる 基本的な身体や心の仕組みと働きについての知識を持ち、コンサルテーションができる 精油に関する総合的な専門知識を有し、顧客の体調に合わせたアドバイスができる 			
		サロン経営	<ul style="list-style-type: none"> トリートメントを行うためのリラクセスできる環境づくりができる 接客のプロとして、顧客がリラクセスしてトリートメントが受けられるような対応ができる 経営に関する知識を有し、店舗の管理・運営、部下の指導・管理ができる 			
	上級 (職務を企画・立案し、部下に指示を出すことができる(職務全体をマネジメントできる))	ボディトリートメント(技能)	<ul style="list-style-type: none"> クライアント一人ひとりの心と身体の状態をふまえたトリートメントが実施できる 精油の香りと特性の専門知識を最大限活用しながらトリートメントが実施できる トリートメントの目的や安全の範囲を十分理解した施術ができる 衛生管理(有害微生物、感染、消毒等)の知識があり、実践できる トリートメント技術を会得し、豊富な経験に基づく顧客満足度の高い施術ができる 現場で扱うことが予想される典型的なケースを想定し、対処ができる。必要となるカルテの作成や記入ができる 施術技術、接客力を併せ持ち、様々な事例に対して、柔軟性と判断力を兼ね備えたコーディネートによる最良の対応ができる 	不足は感じるが積極的には求人しない	<ul style="list-style-type: none"> 慢性的に人材が不足していると認識する企業が多いものの、採算面から、量的な拡大は難しく、質的に優れた人材であれば採用したいと考えられている 地方都市においては、養成学校がなく、セラピスト自体が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> 優れた技術と人間性をあわせもつ人材
		コンサルテーション	<ul style="list-style-type: none"> 顧客のストレスによる緊張を和らげ、心身のバランスをとることができる 顧客との信頼関係を構築できる 基本的な身体や心の仕組みと働きについての知識を持ち、知識に基づいたコンサルテーションができる 精油に関する総合的な専門知識を有し、顧客の体調に合わせたアドバイスができる アロマセラピー(リフレクソロジー)の思想、哲学的コンセプト、人間に対する総合的な理解があり、これに基づくコンサルティングができる 心理学、カウンセリングなどの基礎知識に基づいたコンサルティングができる 			
		サロン経営	<ul style="list-style-type: none"> トリートメントを行うためのリラクセスできる環境づくりができる 接客のプロとして、顧客がリラクセスしてトリートメントが受けられるような対応ができる 経営に関する知識を有し、売上などの店舗運営に関わる管理・運営、部下の指導・管理ができる 			

※ 企業の不足感は、「不足を感じている」「不足を感じるが積極的には求人しない」「不足を感じないがよい人材なら採用したい」「不足を感じない」のいずれかで表している。